

New Approach Methodologies (NAMs)

— 社会実装を見据えた挑戦

事前申込
参加無料

2026年 **7月28日** 火
13:30～17:10

場所 国立医薬品食品衛生研究所
2階共用会議室＋Web開催

参加申込



◀ オンサイト・Webいずれもこちらから
Web参加にはインターネット接続が可能なPC、
タブレット、スマートフォンが必要です。
<https://www.nihs.go.jp/oshirasejoho/symposium/>

- 13:30～ **開会挨拶**
所長 齋藤 嘉朗
- 13:40～ **NAMsをめぐる国内外の動向**
平林容子(安全性生物試験研究センター長)
- 14:10～ **医薬品及び食品分野の非臨床安全性評価におけるNAMsの位置づけと活用**
西村拓也(安全性生物試験研究センター毒性部)
- 14:40～ **社会実装を見据えたヒト細胞による医薬品安全性評価法の開発**
川岸裕幸(安全性生物試験研究センター薬理部)
- 15:10～ **休憩 10分**
- 15:20～ **腎毒性NAMsの社会実装に向けた病理学の役割**
松下幸平(安全性生物試験研究センター病理部)
- 15:50～ **OECD (Q) SAR評価フレームワーク(QAF)を軸としたインシリコ評価の展開**
古濱彩子(安全性生物試験研究センターゲノム安全科学部)
- 16:20～ **インシリコ評価の利用と課題 ～医薬品ニトロソアミン不純物を例に～**
増村健一(安全性生物試験研究センター安全性予測評価部)
- 16:50～ **質疑応答**
- 17:00～ **閉会挨拶**
副所長 佐藤 陽治



National Institute of Health Sciences
国立医薬品食品衛生研究所

お問い合わせ先

国立医薬品食品衛生研究所 総務部 業務課

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目25番26号
TEL:044-270-6600(内線1151)